

Press Release

報道関係者各位



105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-16-5F
 TEL : 03-3580-5965 FAX : 03-3580-5968
 財団ホームページ www.ssf.or.jp
 スポーツWebマガジン www.ssf.or.jp/sfen/

“スポーツ・フォア・オール”の普及に貢献 小野清子理事長が TAFISA* ユルゲン・パルム賞を受賞

*The Association For International Sport for All

公益財団法人笹川スポーツ財団(SSF)は、『スポーツ・フォー・エブリワン』をスローガンにわが国のあらゆるスポーツの普及・振興・育成に向けた研究調査、政策提言を行うスポーツ分野のシンクタンクです。



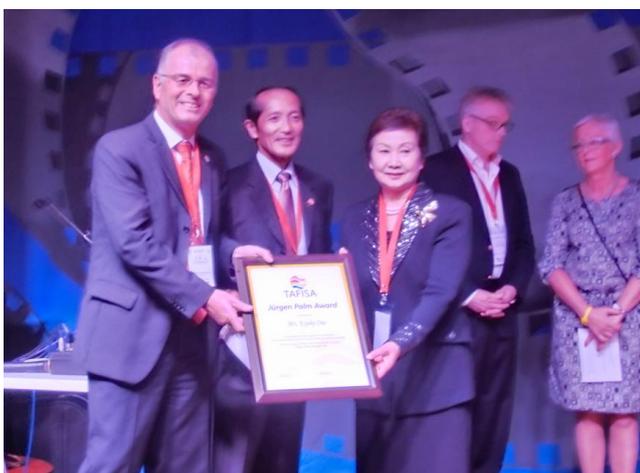
11月11日、当財団理事長の小野清子が、生涯スポーツ振興の国際組織であるTAFISA (The Association For International Sport for All: 国際スポーツ・フォア・オール協議会)の第22回ワールド कांग्रेस(於 アンタルヤ、トルコ)において、世界のスポーツ・フォア・オール振興の貢献者に贈られるユルゲン・パルム賞(詳細説明は以下)を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

今回の受賞は、人口規模がほぼ同じ自治体住民の、スポーツへの参加率を競う「チャレンジデー」の国内への普及と各国の生涯スポーツ振興活動を取りまとめた世界で唯一の総覧「TAFISA Active World」を2001年に発行したのに続き、その後TAFISAの組織が拡大したことなどにより「TAFISA Active World 2011」を発行して、各国の生涯スポーツ振興活動がより詳細に把握できるようになったことなどが高く評価されました。

また本年度は、ブラジルで「チャレンジデー」に取り組むダニーロ・サントス・ミランダさん、ヨーロッパで生涯スポーツを普及したスウェーデンのベンクト・セベリウスさんのふたりも同時に受賞しました。

本件につきまして、是非、お取り上げいただけましたら幸いに存じます。

【授賞式の様子】



SPORT FOR
every
one

すべての人にスポーツの楽しさを

笹川スポーツ財団(SSF)は“スポーツ・フォー・エブリワン”を推進している公益財団法人です。
 本リリースに関する問合せ先: TEL:03-3580-5854
 E-mail:info@ssf.or.jp

1. TAFISA(The Association For International Sport for All)について

本部:ドイツ・フランクフルト <http://www.tafisa.de/> 創立:1991年

世界130カ国から200以上のスポーツ機関が加盟する最大規模のスポーツ・フォア・オール普及・推進組織。

日本からは、TAFISA-Japan(笹川スポーツ財団、日本体育協会、日本レクリエーション協会、健康・体づくり事業財団が参加)として加盟している。

主な事業として、ワールドチャレンジデー、ワールドウォーキングデー、世界スポーツ・フォア・オール・ゲームズ(World Sport for All Games)といったスポーツ・フォア・オールの国際的イベントの実施、TAFISA ワールドコンGRESSに代表される国際会議の開催などがある。すべての人がスポーツを通じて健康で豊かな生活を送れる社会づくりを目指すという理念のもと、国際オリンピック委員会(IOC)や、世界保健機関(WHO)、UNESCO といった国際機関とも協力関係にある。

2. ユルゲン・パルム賞について

TAFISA 初代会長(1991年~2005年)である故ユルゲン・パルム(Jurgen Palm)博士の名を冠して創設された賞で、スポーツ・フォア・オール振興に長期間にわたり顕著な貢献をした個人に贈られる。受賞候補となるには TAFISA メンバーによるノミネートが必要で、TAFISA 理事会が選考を行う。

3. 第22回 TAFISA ワールドコンGRESSについて

会期:11月10日~14日

場所:Limra Hotel and Resort, Antalya, Turkey

テーマ:“Sport for All: Building Bridges”

TAFISA ワールドコンGRESSは、TAFISA 主催のもと開催国のスポーツ振興組織が主管組織となって2年に1度開催される国際会議である。(1990年以前に行われていた前身の「国際トリム・フィットネス生涯スポーツ会議」を含む)

今回は、トルコ スポーツ・フォア・オール連盟(Turkish Sport for All Federation)が主管組織となり、メインテーマに“Sport for All: Building Bridges”が掲げられ、65ヶ国から約300名が参加した。開催期間中はメインテーマのもと、各国団体によるケーススタディ発表やパネルディスカッション、ワークショップ等が複数のセッションに分かれて行われている。

4. 小野清子 プロフィール (昭和11年2月4日生 秋田県出身)

| | |
|----------|--|
| 昭和35年8月 | ローマオリンピック大会出場 |
| 昭和39年10月 | 東京オリンピック大会出場 |
| 昭和61年7月 | 参議院議員 初当選(3期務める) |
| 平成7年4月 | 財団法人(現 公益財団法人) 笹川スポーツ財団理事(平成9年4月から会長) |
| 平成15年9月 | 国務大臣 国家公安委員長 内閣府特命担当大臣(青少年育成及び少子化対策・食品安全) |
| 平成17年4月 | 財団法人(現 公益財団法人) 日本オリンピック委員会副会長(~平成19年3月) |
| 平成19年10月 | 独立行政法人 日本スポーツ振興センター理事長(~平成23年9月) |
| 平成20年4月 | 旭日大綬章受章 |
| 平成23年4月 | 笹川スポーツ財団の公益財団法人化に伴い理事長に就任 |



すべての人にスポーツの楽しさを

笹川スポーツ財団(SSF)は“スポーツ・フォー・エブリワン”を推進している公益財団法人です。

本リリースに関する問合せ先: TEL:03-3580-5854

E-mail:info@ssf.or.jp

5. 公益財団法人 笹川スポーツ財団について

【組織概要】

- ◇ 名称: 公益財団法人 笹川スポーツ財団(SASAKAWA SPORTS FOUNDATION 略称:SSF)
- ◇ 所在地: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 TEL:03-3580-5965 FAX:03-3580-5968
- ◇ 設立年月: 1991年(平成3年)3月(公益財団法人への移行 2011年4月)
- ◇ 目的: スポーツ・フォー・エブリワンの推進
- ◇ 行政庁: 内閣府
- ◇ 理事長: 小野 清子
- ◇ 提携機関: アメリカ大統領体カスポーツ審議会(PCPFS)、国際ヘルスプロモーション研究所(IHP)
- ◇ 加盟機関: 国際スポーツ・フォア・オール協議会(TAFISA)、日本スポーツ・フォア・オール協議会(TAFISA-JAPAN)
国際スポーツ・フォー・オール連盟(FISpT)、アジアニア・スポーツ・フォー・オール協会(ASFAA)

【事業概要】

① スポーツ政策に関する研究調査

スポーツ界の実践型スポーツシンクタンクとして、研究・調査・データ収集および分析に裏打ちされた国や地方行政への政策提言、スポーツ関係団体やスポーツ関係者への企画・提案を積極的に行います。特に、長期的視野に立ったスポーツ政策の立案を求め、十分なデータや根拠の集積を行い提言・提案活動につなげていきます。

また、当財団の事業展開の基礎資料として、スポーツライフ調査を定期的実施し「スポーツライフ・データ」で広く周知するとともに、国内外のスポーツに関する最新データを集大成した「スポーツ白書」を刊行し、広く頒布いたします。

② スポーツ振興につながる研究助成

スポーツの振興に寄与する人文・社会科学領域の研究活動の奨励と研究環境の充実および若手研究者の人材育成を目的として「笹川スポーツ研究助成」を実施します。以下の3テーマを対象として、スポーツ・フォー・エブリワンの社会づくりの推進につながる研究事業を支援します。

- (1) スポーツ政策に関する研究
- (2) スポーツとまちづくりに関する研究
- (3) 子ども・青少年スポーツの振興に関する研究

③ 地域スポーツの活性化支援

100万人を超える市民スポーツの祭典である「チャレンジデー」を全国に周知し、地方自治体・地域等とのコミュニケーションを深め、住民一人ひとりが地域社会の中でスポーツライフを楽しめるようなシステムの構築を図ります。

また、地域コミュニティの創成と世代間交流に「チャレンジデー」が有益であることを実証するとともに、地方自治体が策定するスポーツ振興計画の立案から評価までのサイクルに関わることにより、一人ひとりのスポーツライフの充実を図ります。



すべての人にスポーツの楽しさを

笹川スポーツ財団(SSF)は“スポーツ・フォー・エブリワン”を推進している公益財団法人です。

本リリースに関する問合せ先: TEL:03-3580-5854

E-mail:info@ssf.or.jp